

「第2次上尾市多文化共生推進計画」の指標に関する自治会へのアンケート結果の集計

実施期間：令和7年11月5日～令和7年12月12日

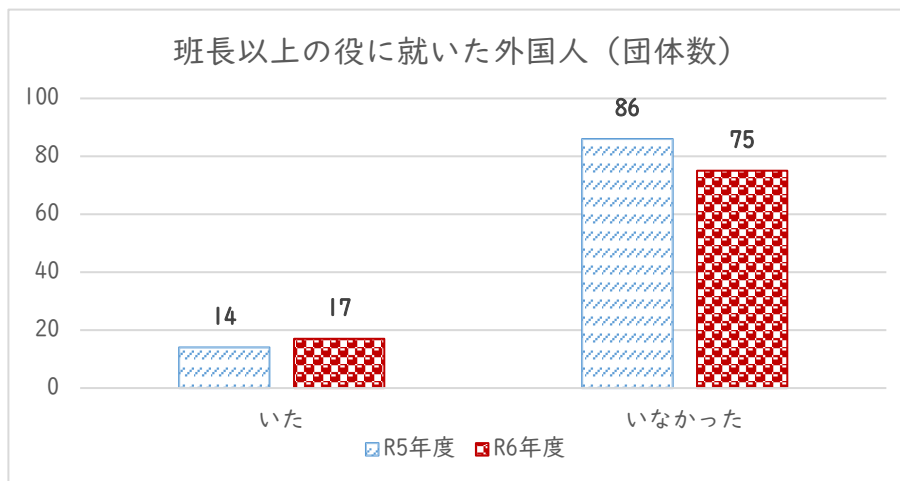
対象自治会：114

回答自治会：92自治会

回答率：約81%

集計結果は以下のとおりです。

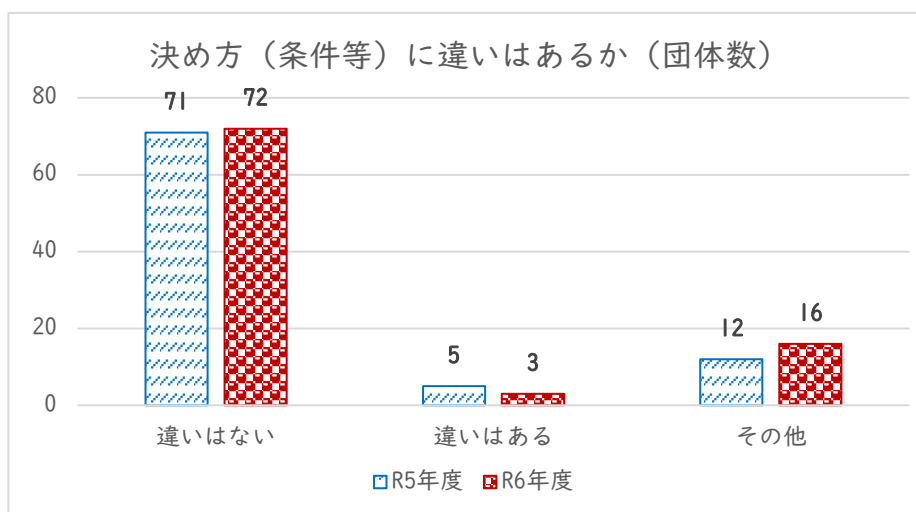
問1 令和6年度に班長以上の役に就いた外国人市民がいましたか？



「いた」と回答した17の自治会等

上町々会、愛宕二丁目町内会、愛宕三丁目町内会、日の出町内会、本町5・6丁目町内会、柏座四丁目町内会、富士見団地自治会、根貝戸団地自治会、平方南地区自治会、小泉自治会、浅間台自治会、小敷谷東部区自治会、三井区自治会、宮の下区自治会、上郷区自治会、下組自治会、錦町町会の17自治会、計26名の外国人市民が班長以上の役職に就きました。

問2 班長以上の役を決める上で、外国人市民と日本人市民で決め方（条件等）に違いはありますか？



○「違いがある」の回答

- ・（来日 10 年以上の方）その他（まじめで信頼できる方でしたら良いと思う）
- ・日本語能力が十分にあり、かつ自治会活動に理解があること。該当する班で、他の班員の理解があること。
- ・班の面倒を見る立場となるのであるから、地域生活に一応の理解が必要である。来日年数は定められないが、複数年数は必要かと思われる。

○「その他」の回答

- ・該当者がおらず協議も行っておりません
- ・現在は外国人の設定がないため、今後は役員及び総会で決定となる。
- ・規定がない。自治会に加入していない。
- ・基本的に違いはないと思いますが、言葉が通じることが前提となります。
- ・基本的に違いはない。班長は同一班内で決定。その他役員は町内で決定。日本語でのコミュニケーション能力は必要
- ・自治会そのものを理解してもらえず、言葉の壁が高い。

⇒「違いがある」の回答では、日本語能力や自治会活動に対する理解を基準としている自治会がありました。「その他」の回答では、自治会内に外国人の会員がいないなどが理由で具体的な決まりがないという回答が多く、日本語でのコミュニケーションを取れるなら、違いはないというご意見も多数寄せられました。

問3 外国人市民が自治会で班長以上の役に就く場合、どのような役割を期待しますか？また、課題（困り事等）はありますか？

○「期待する役割」の回答

- ・異文化交流の担当など、地域内における橋渡しやきっかけとなってほしい。
- ・外国人住居者とのコミュニケーションをとってもらう。他の外国人とのパイプ役。
- ・多文化交流。新たな視点での活動の提案等を期待している。
- ・とにかく自治会の行事等にたくさん参加していただき、コミュニケーションを取ること。
- ・異文化交流のきっかけを期待します。
- ・身体能力が優れているという感じが私には感じているので、それを活かした活躍を期待します。
- ・多文化コミュニケーションの橋渡、異文化理解の促進、外国人住民への行政情報の伝達改善、国際的な視点による問題解決・提案。
- ・新しい視点や発想の提供、地域の国際化、防災力の向上を期待しています。
- ・外国人居住者がいる場合は一緒に加入や地域行事内容をアピールしてほしい。
- ・高齢化が進み、一人住まいの世帯が多くなっており、地域の担い手になってほしい。
- ・地域活動に積極的に参加し、まわりとの交流を深め、意思疎通を図ってほしい
- ・異文化交流の担い手になってもらえれば、ありがたい。テレビに出てくるような人材は期待しないが、一歩でも進めていくのに役割を持ってくれと良いと思う。
- ・日本人とは違った発想を色々な場面で生かせる外国人との交流

○「課題(困り事等)」の回答

- ・「ことばの壁」
- ・環境の違う生活した外国人がどれだけ合してくれるか。
- ・文化の違いの理解ができていないので、意思疎通が難しい。
- ・言葉、宗教が関係した場合は、それを持ち込まない。
- ・今後外国人が増えてくると思うので、文化の違いや自治会活動が外国人に理解してもらえるか不安がある。
- ・言葉やコミュニケーションが取れないと生活習慣の違いや関心が伝われない。
- ・現在外国人の役員はいないが、コミュニケーション能力を養える機会を提供する場を PR して欲しい。
- ・自治会のルールを理解してほしい。(ゴミ等の問題)

⇒期待される役割としては、高齢化が進む自治会において地域の担い手となること、多文化交流を促進することや、他の外国人市民との橋渡し役を担うこと、さらには外国人市民ならではの視点を活かした活動提案をすることが挙げられました。課題としては、「言葉の壁」が最も多く指摘されており、宗教・文化や習慣の違いによる問題や、ゴミの出し方に関する意見も複数寄せられました。一方で、「外国人と日本人に差はない」と考える意見や、「日本人市民と同様の役割を担うことを期待する」といった意見も多く寄せられました。

★★今後の取り組み★★

第 2 次上尾市多文化共生推進計画では、外国人人口が年々増加傾向にある状況を踏まえ、自治会において班長以上の役職に就いた外国人市民が所属する団体数を令和 8 年度には 16 団体とする目標を設定しています。この度実施したアンケート調査では、その目標を達成することが確認されました。今後、地域住民と外国人市民がともに安心して暮らせる街づくりを実現するため、以下の取り組みを進めてまいります。

○ 外国人市民向け生活オリエンテーションの開催

外国人市民がいち早く地域に溶け込むため、昨年度に引き続き、外国人市民向けの生活オリエンテーションを開催しております。昨年度のテーマは、税金の仕組みとゴミ収集アプリのダウンロード方法でした。今年度は、ゴミの出し方を予定しております。

○ SNS による多言語情報発信

昨年度の公式 LINE アカウントに加え、今年度から Facebook と X のアカウントを開設し、3つのツールで定期的に情報発信をしています。

月初め配信内容:外国人向け情報誌ハローコーナーニュース(5言語で配信)

毎週水曜日配信内容:市内イベント情報や各種申し込み情報(やさしい日本語と英語で配信)

登録者数は、年度初めより 2.4 倍に増加し、より多くの方に情報を届けることができました。



Line



Facebook



X

○ 自治会に外国人人口データの提供

今後、各自治会活動を円滑に進めるために、各自治会における外国人市民の人口に関するデータを提供することが可能です。なお、データの基準日は各年度の4月1日時点とします。ご希望があれば、各自治会に次のデータを提供します。

1. 外国人人口数
2. 国籍の多い順に上位3位まで
3. 在留資格の多い順に上位3位まで

なお、外国人市民の人口が10名未満の自治会におかれましては、個人情報特定しやすいため、データの提供を行いません。(データの提供例は以下の通りです。)

令和7年4月1日時点

地区名	事務区名	外国人人口数	国籍多い順	在留資格多い順
上尾地区	緑丘	174	中国	永住者
			ベトナム	技術・人文知識・国際業務
			韓国	技能実習

○ 自治会のご案内と加入方法の多言語化

加入案内と加入方法を多言語化し、市ホームページに載せていますのでご活用ください。



○ 通訳ボランティアの派遣

対応場面：防災訓練など地域の行事やイベント

対応言語：英語、中国語、インドネシア語、ネパール語とベトナム語※

※ベトナム語のご依頼を受ける際には、事前に依頼内容を確認させていただく場合があります。

依頼時期：開催日の1か月以上前にご相談ください。